

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第10号 2019.10.20 発行

やっと待ちに待った上棟式 ！

当初は12日の予定でしたが台風接近のため18日に延期。18日も一日中雨の予報のため翌19日へ延期。2回も延期していた上棟式ですが、小雨が降りしき中、多くのメンバーに参加していただき、やっと上棟式を開催することができました。度重なる日程変更で当初参加を予定していただいたものの参加できなくなってしまった方がいれば、ごめんない。

◆ 棟上げ準備作業

柱と梁がしっかりと組み合わさるよう、梁の形状に合わせて加工します。細かな作業なので、ここは石斧ではなくノミを使って。



垂木の下部は土中に埋まるので、柱と同様に焼き入れをしておきます。箸よりもちょっと？太くて重い丸太でも女性たちが大活躍。



苦労して集めたフジヅルを水にしばらく漬けて戻してから、柱と梁を結束する縄に使います。フジヅル採取から日数が経過しましたが、やっと出番が現れました。



垂木を借り止めすると縄文住居の全体像が現れてきました。



◆ 上棟式

最近ではあまり行われなくなりましたが、上棟式（棟上げ）が近所で行われると聞くと、友達と連れだって餅まきに出かけていった楽しい思い出のある方も多いかと思います。雨の中でしたが、子供の頃にも増して楽しい宴となりました。

雨の影響か、湿度が高いのか、なかなか火が熾りません。
女性陣に嫉妬したのか、火の神様はなかなか降りてきてく
きません。 縄文人たちも何時になく一苦勞。



最期のラストチャンスで奇跡的に火がつかました。
神様はまだまだ我々を見放してはいないようです。



作業の安全を祈り、住居の守り神である火の神様にも今後の安住をお願いします



紅白の餅に、椎の実で作ったクッキー、栗ぶどう、、、と秋の味覚が並びます



雨で寒かったので具たくさん汁で暖まりました。
猪・鹿・蝶ならぬ、猪肉、鹿肉、熊肉と野生味溢れる縄文 BBQ に箸が止まりません。



■ 餅、汁、焼肉、、、といろいろ準備やお手伝い頂いたみなさん、ありがとうございました !!!